

平成 18 年 10 月 27 日

外務報道官
坂場 三男殿

テレビ朝日 編成制作局長
亀山慶二



謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、弊社番組「ドスペ！国民は怒っているぞ！血税バラまき真相スペシャル3」について、10月17日及び19日付けていただいた文書につきましてお答えします。

この番組は、巨額の財政赤字を抱える日本の現状をふまえ、様々な税金の使い方について広く視聴者に是非を問うシリーズ企画であり、今回は3回目の放送となります。

10月14日の放送で外務省についてとりあげたコーナーは、公務員制度改革が叫ばれる中、外交活動に関し、取材を元にVTR化し、さらにスタジオに与野党の政治家の方々をお招きして意見をうかがい、問題提起する意図で制作したものです。

しかしながら、ご指摘いただいた諸点について内容に誤りや正確さを欠く表現があり、視聴者に誤解を与え、外務省及び関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことについてお詫び申し上げます。

以下に、個別のご指摘についてお答えいたします。

1. 「日本人外交官の住居」について

(1) 同番組内で「30代後半の日本人外交官が住んでいた住居」と紹介した物件について、確認のための調査を行いました。その結果は次のとおりです。

- i) この住居は、現地不動産業者に対する取材に基づき場所を特定し、撮影を行ったものである
- ii) しかし放送に至る過程で、これが確かな事実だという確認をしないまま、その業者の証言のみを全面的に信用する形で放送がなされた
- iii) この業者の証言を裏付ける確証は、得られなかった

(2) よって「30代後半の日本人外交官が住んでいた住居」という放送内容は、誤りであったと判断いたしました。

(3) 制作過程で当然行うべき裏づけ取材を怠ったことは不適當であったと認識しております。

2. 在勤手当について

外交官の在勤手当については、「渡しきりの手当」が高額すぎるという批判を反映し、問題提起を意図して試算を行ったものです。しかし放送した試算の内容について、ご指摘のように正確さを欠く部分があり、誤解を与えるような表現となってしまいました。

3. 金田外務副大臣発言

金田外務副大臣の入省式の発言の中で、番組では

「皆さんの中には、ワイングラスを片手にパーティーに出ることが外務省の仕事だと思っている方が、中にはいるかもしれません」

という部分を使用しました。これは、文中の「中には」「いるかもしれない」との表現で「外交官に誤ったイメージを抱かぬよう、新入省員に注意喚起する」という意図が伝わるという認識でした。しかし、この発言の後半部分（「しかし、実際には、時に地べたをはいつくばって情報を集め、関係者を説得するといった、地道な努力の上に外交は成り立っているということを、この際一言もうしあげておきます」）という部分を放送しなかったことで、十分に真意が伝わらなかったというご指摘については、より正確な番組制作を目指す観点から重く受け止め、今後の参考にさせていただきます。

私どもは、今回のことを真摯に反省し、今後とも視聴者に有益で、正確な番組作りをすべく、努力していく所存でございます。ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。